

西中学校だより



2月号



令和7年1月31日発行

寒中お見舞い申し上げます。

3年生は私立高校の入試が目前に迫ってきました。焦ったり、自信がなくなったりしている人もいるかもしれません。もちろん、逆の精神状態の人もいるでしょう。どちらの人もこれまでやるべき事はやってきているはず。本番では積み重ねた力を100%出すだけ。最終的には周りとは関係なく、自分自身との勝負です。体調を整えて本番に臨んでください。

さて、1月17日は兵庫県南西地震が起こって30年の節目の日でした。14日の全校集会で、生徒会役員が全校に向けて震災に関するメッセージを作成・発表しました。一部を紹介します。

能登半島地震から1年 ～思いを寄せて、今私たちにできること～

能登半島地震から1年～思いを寄せて、今私たちにできること～

今からちょうど1年前、皆さんは何があったか覚えていますか？日本にとって決して忘れてはならないある一つのことが起こりました。2024年1月1日午後4時10分、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大きな地震が発生しました。私たちが住む大阪府南部でも震度3の揺れを感じ、テレビを付けると「今すぐ可能な限り高い所へ逃げること！！」というアナウンサーのいつもとは明らかに違う強い口調が画面から流れ、最大級の呼びかけである大津波警報が発表されていました。その瞬間、日本でもないことが起きたんだということに認識し、言葉にできないなんともいえないような感情に浸ったことを今でも鮮明に覚えています。この地震で500人以上の方が亡くなり、1336人の方が重軽傷を負いました。また、被害が大きかった石川県輪島市では200棟以上が焼失する大規模な火災が発生し、被災地に大きな打撃を与えました。

<中略>

今、私たちは当たり前のように学校へ行ったり、友達と遊んだり、家族と過ごしたり、好きな時に好きなものを食べたり…。それらが全て奪われてしまった人たちのことを考えると、胸が締め付けられる思いでいっぱいであると同時に、「当たり前」はいつも「当たり前」にあるわけではないということを感じました。

<中略>

そんな沢山の人や建物に多くの被害を与えた地震ですが、私達がまだ生まれる前にも大きな地震が何度かありました。その中でもちょうど今から30年前の1995年1月17日「阪神・淡路大震災」が起こりました。この地震では、国内史上初震度7、マグニチュード7.3を観測し、死者・行方不明者は6400人以上にのぼり、63万棟以上が全壊・半壊しました。亡くなった人の内、9割が住宅倒壊に巻き込まれています。更にそのうちの98%が旧耐震基準で建てられており今の家ほど、地震に強くありませんでした。このように特に多くの犠牲者を出した『阪神・淡路大震災』ですが、同時に、準備不足だったのは何か、役に立ったものは何かなどの多くの教

被災地の子どもたちと学校の現状

- ・中学生で地元を離れる決断をした人も
- ・被災地域に残ってもオンラインでしか授業を受けられない
- ・給食もボランティアの炊き出し
- ・小さい子は何が起こったかわからない

阪神・淡路大震災 今から30年前

平成7(1995)年1月17日5時46分淡路島北部で発生

国内史上初震度7、マグニチュード7.3

死者・行方不明者 6400人以上
63万棟以上が全半壊



訓も残しました。震災後には、様々な取り組みが行われました。

<中略>

全国各地から、被災地の復旧・復興を手伝いに来る、ボランティアの広がりもこの震災がきっかけです。この震災が、ボランティア活動というものを広めたので発災した1995年は「ボランティア元年」と言われています。これまでに起きた過去の地震を教訓に、今を生きる私達に今後、深く関わってくる巨大地震があるとされています。それは、『南海トラフ巨大地震』です。この地震はニュースなどでもよく取り上げられますが、発生する確率が年々上がってきています。様々なケースが考えられますが、最悪の場合、最大震度7程度の大きな揺れが2回に分けて、とても短い頻度で日本列島を襲う「半割れ」というケースや、最短二分で和歌山県や高知県に巨大な津波が押し寄せて来るケースなども考えられています。私たちが住む大阪府の広い地域でも、震度6弱の強い揺れを観測されると予想されています。

<中略>

さて、これまでのことを受け、今生きている私たちにできること、やらなければいけないことは他にないでしょうか？

それは、もっと生きたいと思っていたのに、それが叶わず地震や津波で亡くなった方々をかわいそうに思ったり、そしてお祈りをしたりすることだけではありません。今ある命、元気に生きていられる命を大切にすることだと私たちは思います。

「大切に命」というのは自分の命だけではなく、すぐそばにいる友だち、他人の命も同じです。例えば、何気なく普段使っている言葉も、時には人の命さえ奪ってしまうことだってあります。

友達に対するいじわるな言葉、言葉によるいじめ、その言葉さえ使わない「無視」という行動、これらはみな、人が生きようとする元気をなくさせる、恐ろしいものです。そうではなく、一人ひとりが意識をして、相手の心が温かくなるような言葉や行動を増やしていきたいです。

それが、もっと生きてくても生きられなかった震災で亡くなった方々に対して、今、生きている私たちにできることだと思います。

今日の全校集会を機に、私たちは震災で亡くなった方たちの気持ちを想像してみて、自分や周りの人たちの命を大切にすることとはどういうことか、よく考えてみる事ができました。

『『当たり前』はいつも『当たり前』にあるわけではない』『自分の命も他人の命も大切にするために、温かい言葉や行動を増やす』。大切で、重い言葉です。しんどいことや辛いこともあります。今こうして私たちが生活していることは、とてもありがたいことです。

改めて、いのちの尊さや、生きる事・生かされている事の意味を考えてみる機会にしましょう。

阪神・淡路大震災を経て...

多くの犠牲者を出した阪神・淡路大震災
準備不足だったものは何か、役に立ったものは何か
この地震は多くの教訓を残した

震災後に取り組みされたこと

- ・耐震への取り組み
- ・孤独死への取り組み
- ・コミュニティへの取り組み

復興の過程で避難所でなくなってしまう事例があったから

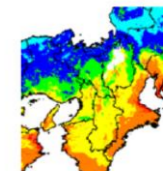
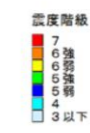
私達ができること

- ・非常持ち出し品の用意
- ・建物が無い場所を把握しておく
- ・本棚など倒れやすいものを固定して倒れないようにする
- ・ハザードマップの確認



南海トラフ巨大地震

河内長野は5強から6弱



令和7年		2月行事予定表				給食			
日	曜日	時間	行事	部活動	清掃	備考	1年	2年	3年
1	土		キッズアート展 和歌山私学入試						
2	日		キッズアート展						
3	月		空気検査(5限)、3年薬物防止教室(6限)						
4	火								
5	水	45×6	専門委員会 小学校交流会(3限)		X	PTA運営委員会(19時～)			
6	木	45×5	音楽科出願 奈良私学入試	X					
7	金		音楽科出願			スクールカウンセラー来校日			
8	土								
9	日								
10	月		3年生大阪私学入試						X
11	火	祝日	祝日 建国記念の日 大阪私学入試						
12	水		1年認知症サポーター(6限)			Jアラート 11:00			
13	木	50×5 +30	全校集会	X					
14	金		公立特別出願(本校)			スクールカウンセラー来校日 支援教育推進委員会			
15	土		音楽科入試実技						
16	日								
17	月		公立特別出願						
18	火					第3回進路対策委員会 3年5限まで			
19	水		テスト1週間前	X					
20	木	50x5	特別選抜	X		西中ゼミ(1, 2年)			
21	金		特別選抜	X		スクールカウンセラー来校日			
22	土			X					
23	日	祝日	祝日 天皇誕生日	X					
24	月	祝日	振替休日	X					
25	火			X		西中ゼミ(1, 2年)			
26	水	50x3	1, 2年学年末テスト 3年進路懇談(午後)	X	X	15:15終了 15:30下校 3年水3.4.5 学校保健会(14:00)	X	X	X
27	木	50x3	1, 2年学年末テスト 3年進路懇談(午後)	X	X	3年木1,2,3	X	X	X
28	金	50x3	1, 2年学年末テスト 3年進路懇談(午後)			スクールカウンセラー来校日 3年金1,2,3 いじめ不登校対策委員会	X	X	X

令和6年度 学校教育自己診断集計結果(保護者アンケート)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

